

平成 29 年 6 月 15 日現在

機関番号：62608

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2013～2016

課題番号：25244012

研究課題名(和文) 海外における源氏物語を中心とした平安文学及び各国語翻訳に関する総合的調査研究

研究課題名(英文) Heian Literature in Translation: A comprehensive investigation centered on The Tale of Genji of translations into world languages.

研究代表者

伊藤 鉄也 (ITO, Tetsuya)

国文学研究資料館・研究部・教授

研究者番号：10232456

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 25,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、「翻訳から見た日本文化の変容」と「『十帖源氏』の翻訳と研究」という2本の柱を立てて課題に取り組んだ。この4年間に、膨大な成果をホームページ「海外源氏情報(GENJI overseas)」(<http://genjiito.org>)を通して公開した。

成果物としては、『日本古典文学翻訳事典 1・2』の発行と、『海外平安文学研究ジャーナル Vol 1～6』(ISSN番号 2188-8035)のウェブ公開がある。また、2016年11月にインド・ニューデリーで「第8回インド国際日本文学研究集会」を主催し、『海外平安文学研究ジャーナル インド編』としてウェブに公開した。

研究成果の概要(英文)：This study is based on two themes: "Transformation of Japanese culture viewed from translation" and "Translation and research of 'Jujo Genji'". In the last four years, massive results have been released on a website "GENJI overseas" (<http://genjiito.org>). The activities of the study includes: publish of "Japanese classical literature-a translation encyclopedia 1, 2", and an online release of "Journal of Heian Literature Research Overseas Vol. 1-6" (ISSN: 2188-8035). Also, we have hosted a "The eighth Indo-Japan Seminar on Japanese literature" in New Delhi, India, on November 2016, and released "Journal of Heian Literature Research Overseas - India -" on the website.

研究分野：日本文学

キーワード：源氏物語 翻訳 日本文化 十帖源氏

1. 研究開始当初の背景

(1)世界文学の中に位置づけられる日本文学は、今や、多言語によって理解される時代となった。本申請課題は、『源氏物語』を仲立ちとして、各国との文化交流の上で重要な役割を果たすものとなる。

(2)これまでに、安永尚志氏(国文学研究資料館名誉教授)による「国際コラボレーションによる日本文学研究資料情報の組織化と発信」(科学研究費基盤研究(S), 2001年~2005年)の成果として、「日本文学国際共同研究データアーカイブ」が国文学研究資料館から公開されている(<http://base1.nijl.ac.jp/~kokusai/icjs.html>)。このコンテンツは、圧倒的に情報量の多いイタリアとフランスの日本文学関係の情報に特筆すべきものがある。この中で、インドに関しては伊藤が担当した。この中断している情報を引き継ぎ、2005年以降の最新情報によってさらに拡大し、再編集する必要がある。ただし、本申請課題では、日本文学の中でも『源氏物語』を中心とする平安文学に限定して取り組むものである。

(3)諸外国の数多くの研究者が、日本文学に関する研究成果を積極的に情報として発信している。しかし、インターネットでその成果が確認できるとはいえ、まだまだ情報源に偏りがある。

2. 研究の目的

本科研は、以下の3つの目標を掲げて取り組むものである。

(1)世界各国31言語で翻訳された『源氏物語』の総合的調査を実施し、受容・研究史を整理

(2)江戸時代の縮約版『源氏物語』を多国語翻訳し、日本文化の変容と理解について共同研究

(3)平安文学を語り・記述するための専門用語の英語表現を、グロッサリーの形で編纂し提案

これらを前提として、以下の課題の解明を目的とする。

(1)海外を視野に入れた、『源氏物語』を中心とする研究情報の総合的な調査を踏まえ、海外における日本古典文学の受容と研究の歴史を整理する。

(2)江戸時代の縮約版『源氏物語』である『十

帖源氏』の多国語翻訳を通して、日本文化が変容して伝えられていく様子と文化理解についての共同研究も展開する。

(3)『源氏物語』をはじめとする平安文学を中心として、海外の日本文学研究に関する情報を再構築し、さらに発展育成する。そのためにも、オンラインジャーナルの活用により、共同研究を促進する。

3. 研究の方法

(1)研究史の整理

世界各国における日本古典文学に関する実態調査(研究機関・研究者・研究成果・翻訳書等)に基づき、受容と研究の歴史を総合的に整理し、ホームページ上に公開する。(後掲《図版》参照)

(2)翻訳から見た文化の変容の研究

『十帖源氏』の多国語翻訳と研究を踏まえて、日本文化の海外における変容を共同研究し、ホームページ上に公開する。

(3)成果の積極的な公開

研究情報や成果はウェブを活用して発信し、共同研究態勢を構築する。

(4)今後の見通し

ここで創出し収集し整理する情報群は、日本文学の本質理解への多面的な刺激と具体的な方策を与え、今後の海外における日本文学研究の基盤整備となり指針となるはずである。

《図版》



4. 研究成果

前掲「研究目的」の冒頭に掲げた項目に関しては、次の補足が必要である。

に関しては、調査対象となる言語が31から33種類に増えた。

では、『十帖源氏』の「桐壺」巻と「若紫」巻に着手し、その訳し戻しによる資料と新たな翻訳文を精査することで、今後の展開

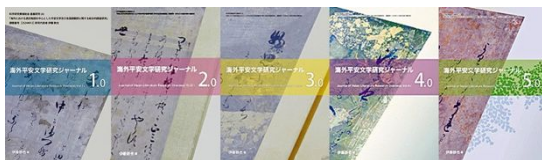
の見通しが立った。

のグロッサリーについては、多言語翻訳を継続する中で、訳し戻された日本語文と原文を比較対照することにより、自動的にいくつかの言語の意味が比較検討できるようになった。このことにより、その比較対照表をグロッサリーに代替することにした。

科研の成果を公開している「海外源氏情報」(<http://genjiito.org>)には、翻訳文献は『源氏物語』が290点・平安文学が581点、翻訳関係論文は『源氏物語』を含む平安文学が514点、翻訳以外の関係論文は716点が自由にアクセスし、検索可能となっている。

共同研究を含めた研究成果は、オンラインジャーナルとして公開している『海外平安文学研究ジャーナル 全6冊+別冊』(ISSN番号 2188 - 8035)で、自由にダウンロードして読めるようにしている(後掲《図版》参照、<http://genjiito.org/aboutkaken/allresearchreports/>)。

《図版》



さらに、世界各国で刊行されている翻訳書の総整理をもとにして編集した、『日本古典文学翻訳事典1 英語改訂編』と『日本古典文学翻訳事典2 平安外語編』も、ダウンロード版として公開している(<http://genjiito.org/journals/>)。

これらは、パスワードなしにすることで、いつでもどこからでも自由に入手できるようにした。

「国際日本文学研究会」は、カナダとインドにおいて開催し、それぞれ詳細な報告を『海外平安文学研究ジャーナル』(第2号・別冊)に掲載した。特に、パネルディスカッションとシンポジウムの再現は、海外における平安文学研究に関して、さまざまな問題点を提示するものとなっている。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線を付した。)

なお以下では、本科研の成果として公刊したオンラインジャーナル『海外平安文学研究ジャーナル』(Vol1.0~6.0)に掲載された論考のみをとりあげている。)

〔雑誌論文〕(計14件)

(1) 【海外平安文学研究ジャーナル vol.6.0(2017/03/30)】

・「『十帖源氏』の本文と各種版本—和歌の異文と解釈の問題—」清水婦久子 p11

・「『訳し戻し』という翻訳」藤井由紀子 p61

(2) 【海外平安文学研究ジャーナル インド編 2016(2017/03/31)】

・「変体仮名の国際標準化について」高田智和 p15

・「インド8言語訳『源氏物語』の書誌」伊藤鉄也 p21

・「『源氏物語』の英訳について」須藤圭 p39

(3) 【海外平安文学研究ジャーナル vol.5.0(2016/09/21)】

・「ウォッシュバーン訳『源氏物語』の問題点」緑川真知子 p61

(4) 【海外平安文学研究ジャーナル vol.4.0(2016/03/30)】

・「ウルドゥー語訳『源氏物語』の完本発見」伊藤鉄也 p51

(5) 【海外平安文学研究ジャーナル vol.3.0(2015/09/30)】

・「モンゴル語訳『源氏物語』について」伊藤鉄也 p11

(参考資料：各国語訳『源氏物語』翻訳時に省略された場面の一覧)

・「『源氏物語』末松英訳初版表紙のパリエーションについて」ラリー・ウォーカー p42

・「『十帖源氏』英訳所感」緑川真知子 p89

(6) 【海外平安文学研究ジャーナル vol.2.0(2015/03/11)】

・「カナダ国際研究交流会特集 小説として読まれた英訳源氏物語」緑川真知子 p22

・「カナダ国際研究交流会レポート」海野圭介 p50

・「カナダ国際研究交流会特集 新出資料『蜻蛉日記新釈』(上・下)」伊藤鉄也 浅川槇子 p54

(7) 【海外平安文学研究ジャーナル vol.1.0(2014/11/26)】

・「『源氏物語』の「京都」はどう英訳されたか 創造された京都と、変貌する『源氏物語』」須藤圭 p37

〔図書〕(計2件)

・『日本古典文学翻訳事典1 英語改訂編』(伊藤鉄也編、国文学研究資料館、2014、319頁)

・『日本古典文学翻訳事典2 平安外語編』(伊藤鉄也編、国文学研究資料館、2016、259頁)

〔その他〕

ホームページ等

本科研の成果のすべては、ホームページ「海外源氏情報」(<http://genjiito.org>)で公開している。

6. 研究組織

(1) 研究代表者

伊藤 鉄也 (ITO, Tetsuya)

国文学研究資料館・研究部・教授

研究者番号：10232456

(2) 研究分担者

野本 忠司 (NOMOTO, Tadashi)

国文学研究資料館・研究部・准教授

研究者番号：20321557

(3) 連携研究者

荒木 浩 (ARAKI, Hiroshi)

国際日本文化研究センター・研究部・教授

研究者番号：60193075

連携研究者

清水 婦久子 (SHIMIZU, Fukuko)

帝塚山大学・人文学部・教授

研究者番号：30226253

連携研究者

藤井 由紀子 (FUJII, Yukiko)

清泉女子大学・日本語日本文学科・准教授

研究者番号：70551943

連携研究者

高田 智和 (TAKADA, Tomokazu)

国立国語研究所・理論構造研究系・准教授

研究者番号：90415612

連携研究者

ラリー ウォーカー (Larry, Walker)

京都府立大学・文学部・准教授

研究者番号：70381928

連携研究者

マイケル G ワトソン (M G, Watson)

明治学院大学・国際学部・教授

研究者番号：20190283

(4) 研究協力者

浅川 槇子 (ASAKAWA, Makiko)

国文学研究資料館・プロジェクト研究員

研究者番号：90795808

研究協力者

須藤 圭 (SUDO, Keio)

立命館大学・文学部・助教

研究者番号：70706613